---第 25 期---

No.03
2023/08/31

八ヶ岳歩こう会　会報

■事務局からのお知らせ

◎9 月は防災月間ですね。この夏は猛暑続きで多くの方が熱中症で運ばれました。また線状降水帯で日本各地が大変な災害に遭いました。一方で日照りが続いて農作物が育たないという地域もありました。そして近頃は同時多発の台風が南から西から日本に向かってきています。近年は一年中が防災月間であると言って過言ではありません。何かあったときの「家族間の決まり事」をもう一度確 認しておきましょう。つい最近私の一人住まいの知人がくも膜下出血で倒れました。後で聞いたら倒れる直前本人自身が体調の異変に気付き、あらかじめ決めておいた近所の家に連絡をして、事なきを得た（といってもドクターヘリで運ばれ二日間意識不明だったのですが）ということがありました。災害や災難そして体調異変はいつ身の上に起こるかわかりません。緊急連絡先は遠くの身内より近くの知人です。防災グッズと連絡先を整えたら、安心して味覚の秋を楽しみましょう。シマアジの刺身をひやおろしでやる季節となりました。

◎退会員：最上 恭さん(北杜市)

【2023 年 9 月の行事詳細】

■9 月 6 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ) 2 階第 9 会議室　10：00

■9 月 11 日(月)　江戸巡礼古道ウォーク～秩父三十四カ所札所巡り～第 6 回
31 番観音院～32 番法性寺
江戸巡礼古道ウオークは第 5 回まで終了し 34 ヶ所札所のうち 31 番札所まで到達しました、残りの札所は 3 ヶ所ですが、巡礼古道の道のりは残り約 35Km、これをあと 3 回で歩きます。第 6 回目は 5 回目のゴール 31 番からですが、国道 299 号線から 31 番札所は同じ道(約２Km) を往復するのことになるので、国道 299 号から 31 番への入り口をスタートとします。途中小鹿野の街中を歩きます、人口 1 万人程度の小さな町ですが、かつて江戸と信州を結ぶ主要な街道であった信州・上州道の宿場として栄えたころの面影を残しつつ、バイク好きの若者が集うライダーズカフェなどもあり、新旧を組み合わせた活気のある面白い街です。ここで少々時間をとり自由行動とします。かつて宮沢賢治が宿泊した旧本陣寿旅館を改修した観光交流館で観光情報をチェックできます。メイン通りをお店を覗きながら歩くのも良いですが、一歩路地に入るとレトロな風景に遭遇します、

素朴な路地を散策するのも良いでしょう。食事のできるお店もいくつかあるので、お好みの場所で昼食を摂ってください。「わらじカツ丼」というのがここ小鹿野の名物です、タレに付け込んだ特大のカツが当然のように2枚（草鞋ですから一足）乗った丼、年寄りにはちとヘビーなので要注意です。小鹿野の町並みを過ぎ何ヵ所かの沢を渡ると大日峠です、ここまでは少々上りが続きます。峠を越えれば32番法性寺はもう目の前です。秩父札所唯一の仁王門と鐘楼を兼ねた鐘楼門をくぐると正面に長い石段が続いています。この札所の奥の院には胎内観音が祭られた岩窟、大日如来が祭られた岩窟などがありますが、鎖を頼りに垂直に近い崖をよじ登るなどかなりの気力と体力を要するので今回は見送ります。

・コース：観音院(31番)入口→小鹿野町散策(昼食、トイレ)→大日峠→法性寺(32番)
・距　離：約9Km
・集　合：平田家住宅前駐車場 7：00　甲府駅北口 7：50
　　道の駅はなかげの郷まきおか8：30
・解　散：道の駅はなかげの郷まきおか 18：20頃　甲府駅北口 19：00頃
　　平田家住宅前20：00頃
・参加費：会員 500円　一般： 1,000円　バス代　会員 5,500円　一般 6,000円(バス代は参加者数等により増減の可能性があります)
・持ち物：弁当(小鹿野の街中の食事処の利用も可能です)、飲み物、雨具、ウオーキングダイアリ(会員のみ)、保険証等
・担当者：大嶋俊壽(080-2044-4766)　多賀純夫
・申し込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んでください。
なお第5回に参加された方は既に申し込み済となっています、参加できない場合はキャンセルの連絡をお願いします。
多賀純夫　Mail: taga-ya@pairhat.jp　FAX: 0551-32-6877

■9月13日(水)　鏝絵巡りシリーズ第11回　富士見町立沢地区の鏝絵巡り
今回は富士見の鏝絵どころと言われる立沢の鏝絵巡り。ここでは１３ヶ所で蔵の鏝絵を見ることができます。なかでもユニークなのは神社脇の蔵の妻壁に奔放に描かれた鏝絵、左官さんの遊び心に思わず喝采を送りたくなります。地元の方にいろいろとお話を伺うことができました。土蔵の用途が無くなっている中、鏝絵の多くは老朽化がすすんでいますが、補修したくとも職人さんがいなくなったりして保存は大変なのだそうです。土蔵に鏝絵を施したのも「当時の流行だったんだよね」とのことでした。
鏝絵以外にも立沢大橋からの眺望、そしてお昼には「おっこと亭」でそばを楽しみ、謎に包まれた稗之底古村址を歩きましょう。シリーズの中でも一番標高の高いところを歩くこのコース、夏でもちょっと涼しさを感じられるのではないでしょうか。とはいえ残暑厳しく強い日差しの下でのウォークです、暑さ対策も忘れずに。

・コース：立沢農村公園（トイレ）－立沢（鏝絵 4 件）－神社（鏝絵 1 件）－立沢（鏝絵 3 件）－立沢大橋－おっこと亭（昼食・トイレ）－稗の底古村址－立沢（鏝絵 3 件）－立沢農村公園（トイレ）
・距　離：約 13ｋｍ
・集　合：9：30　立沢農村公園（長野県諏訪郡富士見町立沢）
・解　散：14：50　立沢農村公園
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：飲み物　雨具　ウォーキングダイアリー（会員のみ）　保険証等
・担当者：小澤　久（070-4219-7394）　　村松光比古（090-6526-6737）
・その他：「そば処おっこと亭」での昼食を予定しています。事前に席を予約するため、希望者は当日朝の受付に申し出てください。なお、昼食持参の方は申し込み不要です。
＜参考＞もりそば＋野菜天ぷら 3 点盛り 1500 円です。
・集合解散場所の立沢農村公園は富士見駅から 5km ほど離れたところにあります。直接集合場所に行けず電車利用で参加したい方には富士見駅～立沢農村公園を有志会員の車で送迎致します。駅からの送迎希望の方は八ヶ岳歩こう会メーリングリストにメールで申し込んでください。
なお、メールが利用できない方は担当者に直接電話でも結構です。
送迎利用者は富士見駅に 9:15 に集合、往復送迎費用 300 円を乗車させていただいた方に直接お支払いください。甲府方面からの列車時刻は以下のようになります。
甲府 8:16ー韮崎 8:29ー穴山 8:36ー長坂 8:55ー小淵沢 9:02ー富士見 9:10

立沢大橋

立場川と県道茅野北杜韮崎線をまたぐ立沢大橋は高さ 40 メートル、全長約６０６メー

トル。広域農道八ケ岳エコーラインの橋梁としては最長で、富士山や南アルプス甲斐駒ケ岳、八ケ岳の眺望地としても有名です。

稗の底古村址（富士見町指定史跡）

稗之底村(ひえのそこむら)は、境方十八ヶ村に数えられる古村でした。「諏訪郡諸村並(ならびに)旧蹟年代記」(筆者不明幕末)に引用される天性十八年(1590)の「諏訪郡御検地御高帳」に高三十六石三升と記載され、僅かな田畑を耕して生計を立てていたが、ついにこの地を捨てて去らざるを得なくなった。その厳しい状況を、後の文書では「右稗之底村ノ儀、八ヶ嶽下ニテ地所至ッテ寒ク、作毛生イ立チ兼ネ、其ニ上野山伐リ尽クシ渡世難儀仕リ、正保年中立沢新田へ引越シ、其ノ後明歴年中以前ノ村方へ罷リ帰り家作仕リ候得共、前諸ノ通り渡世仕リ難ク候ニ付キ、乙事村へ引越シ住居仕リ中馬稼ギ等仕リ候」と記している。これは宝歴十三年(1763)中馬紛争に関する幕府普請方の産物改めが行われた際に、乙事村の役人が差し出したものである。稗之底村を放棄した村人が立沢村・乙事村に移住したことは、書面で明らかである。また、伝承によれば植松姓、北原姓、五味姓(一部)は稗之底より移住したという。ちなみに、このとき移転したという明歴二年(1656)銘の六地蔵石幢が乙事に現存する。こんにち跡地は埋もれ、特定するのは困難であるが、大先神社・屋敷平・稗之底の地名を残している。(富士見町教育委員会資料参照)

「ZOOM ママの気ままなウォーキング」より

https://8236.jp/kimama/walk/aruku/hinosoko-0927.html

■9 月 20 日(水)　8 の字ウォーク、もう一つの棒道

久しぶりの 8 の字ウォークです、三分一湧水館を中心に午前と午後 8 の字に歩きます。

お昼は三分一湧水で、午前中のみ午後のみの参加でも大丈夫!

もちろん 1 日中は大歓迎です。

残暑も厳しいですがそろそろ八ケ岳南麓は初秋の気配も感じられます、富士見坂からの雄大な富士山や南アルプスの景色を堪能しながら普段あまり馴染みのない１１番からの観音様の道を歩きましょう。午後は林の中、六所神社やちょっと不思議な耳塚を巡ります。

ご愛嬌の藪こぎあり（冷汗）　半ズボンでのご参加はお控え下さい。

・コース：三分一湧水館(トイレ)～富士見坂～八達衢神碑(やちまたのかみ)～西国１１番観音～23 番観音～三分一湧水館(昼食、トイレ)～古戦場跡～泉郷遊歩道～六所神社～富蔵山公園～耳塚～富蔵山公園～三分一湧水館(トイレ)

・距　離：10 キロ(午前 5 キロ、午後 5 キロ

・集　合：三分一湧水館　9 時 30 分

午前の部 12 時まで

午後の部 12 時 40 分から

・解　散：三分一湧水館 3 時

・参加費：会員 300 円、一般 500 円

・持ち物：お弁当．飲み物．雨具．ダイアリー．保険証など

・担当者：進藤律子 090-8948-2017／風路和子 080-6715-3826／大嶋俊壽 080-2044-4766

■9 月 27 日(水) 風切りの里を歩く～三社参りの道～

「風きり」とは防風林のことで、冬の厳しい八ヶ岳颪を防ごうとする先人の知恵だったそうで、今でも立派な赤松が残っています。
清里の旧村「樫山」には、かつて「三社まいり」という風習がありました。
雨乞いを「八ヶ岳権現社」に、晴天を「日吉神社」に、暴風よけを「風の三郎社」に、それぞれ集落の代表が毎日当番として代参したそうです。久しぶりにこの三社を巡って歩いてみたいと思います。
宮沢賢治さんの「風の又三郎」はこの「風の三郎社」と何か繋がりがあるのでは？という話もあり、賢治ファンならずともロマンをかきたてられるのではないでしょうか？
さらに、ゴールの「Blowin'in the wind」(ブローインインザウィンド) という開店してまだ 1 年のうなぎやさんで美味しいランチはいかがでしょう？
このうなぎやさんらしからぬ店名からも、風切りの里と賢治さんへの思いを感じさせられます。
樫山うなぎごはん 5445 円のところ、ランチでハーフ 2723 円を用意してくださるそうです。(ウナギ苦手な方は豚丼 2200 円も頼めるようです)
お弁当持ち込みも可ですが、なにか飲み物かデザート等を注文して頂けたらと思います。

・コース：「Blowin'in the wind」隣の駐車場 → 八ヶ岳権現社 → 日吉神社(トイレ・和式) → 風の三郎社 → 「Blowin'in the wind」(昼食・トイレ)
・距　離：約 7Km
・集　合：「Blowin'in the wind」(旧「北甲斐亭」) 隣の元農産物直売所の駐車場　10：15
・解　散：「Blowin'in the wind」　15：00 頃
・参加費：会員 300 円 一般 500 円
・持ち物：飲み物・雨具・マスク・ウオーキングダイアリ(会員のみ)・保険証・その他（ランチ注文しない場合はお弁当）
　お昼の時間は 13：30 頃となる予定なので、おやつ等。
・担当者：風路和子(080-6715－3826 又は 0551-36-3826)　多賀純夫(090-8857-2864)
・集合解散場所の「Blowin'in the wind」がわかりにくい場合、車の方は「道の駅南きよさと」から案内します。
また電車利用の場合長坂駅から有志の車で送迎します。
車の案内希望の方・電車で長坂駅から送迎希望の方は八ヶ岳歩こう会メーリングリストにメールで申し込んでください。

なお、メールが利用できない方は担当者に直接電話でも結構です。
送迎利用者は長坂駅に 9:45 に集合、往復送迎費用 300 円を乗車させていただいた方に直接お支払いください。
甲府方面からの列車時刻⇒甲府 8:51ー長坂 9:36 です。
車の案内希望の方は、道の駅南きよさとに 9：45 集合です。
◎ランチの希望もお願いします。しっかり通常のサイズ希望の方は「通常」とお書きください。何も書かない場合はハーフサイズとなります。

■9 月 30 日(土)　城跡・館跡巡りシリーズ(12 回) 柳沢吉保と甲府城ウォーク
甲府城は、別名・舞鶴城とも呼ばれて市民に親しまれています。秋分を過ぎる頃には、城内の樹木の葉が少しずつ色ずんできています。特に白壁の二重二階層の稲荷櫓は、辺りに溶け込んでより美しく見せてくれます。四季折々の景色を楽しませてくれます。
甲府市は、開府５００年の長い歴史を誇っています。そんな中で、柳沢吉保は、ほんの僅かの期間でしたが甲府の藩主として城と旧城下町を大々的に整備しました。今の甲府の街の基礎をつくったと言われています。吉保・吉里親子時代は、城と旧城下町は一番輝いていたと言われます。(これぞ甲府の花盛り)
甲府の町は、先の空襲と都市開発等により残念ながら旧城下町の面影が殆ど失われてしまいました。そんな中での、吉保・吉里親子に関わる足跡を辿りながらのウォーキングになります。
コースの中で、県庁(別館)を訪れます。ご覧の通り、昭和５年に建築された赤レンガ造りを基調にした重厚な、当時の技術の粋を尽くした歴史的にも貴重な建築物だと思います。余計な話になります。別館を眺めていると、高倉健は三宅坂の旧帝国陸軍・参謀本部より、青年将校の姿で今にも颯爽と現れてきそうです。(動乱・高倉健、吉永小百合)映画のシーンを思い出してきます。
コースにおいては、車が多く通ります。十分に注意していきます。

・コース：甲府駅・南口信玄公像前(トイレ)→ 甲府城 → (堺屋本店漢方薬・三枝豆店)
→ みどり橋 →若松座跡 → 一蓮寺 → 市民会館(昼食・トイレ) → 開運橋
→ 県防災新館(トイレ)・県庁別館 → 甲府駅
・距　離：約 10KM
・集　合：JR 甲府駅・南口信玄公像前　9：50
上り 小淵沢駅 8：48→甲府駅 9；38　　下り 塩山駅 9：10→甲府駅 9：37
・解　散：甲府駅　15：00 頃

・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)／小林光修(090-4676-2067)
・その他：今回は判っている範囲の旧地名の道を歩きます。境町通リ→横近習町通リ→甲斐奈通リ→八日町通リ→柳町通リ→緑町通リ→工町(たくみまち)通リ→鍛冶町通リ→桶屋町通リ→魚町通リ

【2023 年 10 月の行事詳細】

■10 月 4 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ) 2 階第 9 会議室　10：00

■10 月 5 日(木)　北山の道を歩く(第４回)

7 月 24 日に実施した北山野道を歩く第 3 回は志摩の里は想定以上に気温が高く、熱中症の危険があるとの判断で、午前中のみのウォークとしました。「北山の道を歩く」は 3 回で終了の予定でしたが、後半部分を若干膨らませたコースで第 4 回を歩きます。志摩の里は湯村山、羽黒山、片山の南麓をたどり、湯村、羽黒町、山宮町、千塚を通る道筋です。中世にはこの辺りは「志摩庄」と呼ばれる荘園で、湯村温泉が古くは志摩の湯といわれたのもこのためです。加牟那塚、万寿森古墳や積石塚などの古墳も多く、千塚も古墳が多かったので地名となったとされ、古代から人間生活が営まれていた地域といえるでしょう。

前半では湯村の守り神湯谷大権現を祀った湯谷神社、厄除地蔵で有名な円澤寺、江戸時代の石橋、鳥居、十二支が彫られた十二基の石灯篭など多くの石造物が残された千塚八幡神社などを訪れました。後半では信虎、晴信二代に仕えた名将跡部氏の系図、墓所などが残された攀佳寺、今はさびれてしまったが、本殿の周りに石垣をめぐらし近隣七か村の本宮であったといわれる山宮大宮神社、ユーモラスな顔をした合羽地蔵の青松院など、見どころの多いコースです。第 3 回で場所がよくわからず見ることができなかった円澤寺の石仏「たんきりまっちゃん」にも会えます。

・コース：千塚公園(トイレ)→攀佳寺(はんけいじ)→福寿院→山宮大宮神社→青松院(トイレ(ウオッシュレットのきれいなトイレ但し土足厳禁))→竜源寺→羽黒大宮神社→松元寺→千塚公園（トイレ）
・距　離：約　９Km
・集　合：千塚公園　10 時 20 分
　公共交通機関(推奨)を利用する場合は
　上り　小淵沢発 8：48　甲府着 9：32　下り　山梨市発 9：23　甲府着 9：37
　で甲府駅南口バスターミナル 4 番乗り場より 9：45 発　04 昇仙峡滝上または 9：55 発 08 韮崎駅行きに乗り千塚バス停で降車してください。（千塚公園まで徒歩 10 分）
・解　散：千塚公園　１４：00 頃
・参加費：会員 300 円 一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウオーキングダイアリ(会員のみ)・保険証・その他
・担当者：大嶋 俊壽(080-2044－4766)　小塚敏夫
・その他：自家用車で現地集合の場合の駐車場等は自己責任でお願いします。

公園の駐車場は 20 台程度しか止められません、ご注意ください。
昼食場所等はこれから検討します、決まり次第この Site に掲載していきます。

■10 月 18 日(水)　鏝絵巡りシリーズ第 12 回

■10 月 23 日(月)　紅葉の富士見高原(仮称)

■10 月 28 日(土)　御勅使川扇状地と野牛島の郷ウォーク
野牛島の郷は、南アルプス山麓の御勅使川扇状地の扇央北方に広がる郷になります。ぶどう・桃・さくらんぼう等の栽培が盛んな果樹園地域になります。
御勅使川扇状地の北の方に流れる御勅使川は、芦安地域の山々を削り運んだ土砂でつくられた扇状の土地になります。日本でも有数な扇状地として知られています。扇状地をつくりだした御勅使川は、長い歴史の中で何度も川の流れる道を変えてきたのが知れています。旧県運転免許センター辺りは、明治３１年頃まで河川として前御勅使川と呼ばれていました。この地域は、太古から御勅使川によって度重なる洪水の被害を受けてきました。今は、川を治めてその水を利用して発展してきました。先人たちの苦労のお陰により、今の豊かな水田と果樹園地帯の姿になっています。旧県免許センター跡地には、幾つも大きな建物は県の防災備蓄倉庫になっています。
今回は、御勅使川扇状地の扇央北方に広がる野牛島の郷ウォーキングになります。コースにおいては、アップダウンが少ないですが、車が多く通ります。お互いに車に注意していきます。

・コース：ふるさと文化伝承館(トイレ) → 野牛島ビャクシン・鎌倉御所、五郎丸の墓 → 宇宙神代桜・古代の蓮 → オギノ(トイレ) → 上高砂堤防松並木 → ハッピパーク(昼食・トイレ) → 長盛院・土屋惣藏の墓(トイレ) → お熊野堤(前御勅使川旧堤防) → ふるさと文化伝承館(トイレ)
・昼食は、ハッピーパーク内のイタリヤ店でもできます。店名、カフェオーチャート、パスタ・ピザ、一人/1380 円、℡055-280-5501
予約はいらないです。
・ふるさと文化伝承館にて、係員さんに説明をさせて頂きます。予定は 14：30 頃になります。

・宇宙神代桜について、北杜市三枝元治桜守、2008 年～2009 年国際宇宙ステーションで岩田光一宇宙飛行士と過ごした種を育て宇宙神代桜と命名し寄付されました。長泉寺の境内に元気で育っています。

・距　離：約 10ｋｍ
・集　合：ふるさと文化伝承館(湧暇李の里内)駐車場　9：40
山梨県南アルプス市野牛島２７２７　Tel 055-282-7408
塩崎駅～伝承館　送迎します。10/21 迄に、田中までに連絡ください。
下り塩山駅 8：36→塩崎駅南口 9：22　上り小淵沢駅 8：48→塩崎駅南口 9：28
・解　散：15：00 頃
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)　恵星富子　望月澄子

【2023 年 11 月の行事詳細】

■11 月 1 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ) 2 階第 9 会議室　10：00

■11 月 6 日(月)　江戸巡礼古道ウォーク第 7 回

■11 月 11 日(土)　棒道ウォーク

■11 月 15 日(水)　鏝絵巡りシリーズ第 13 回

■11 月 16 日(木)～17 日(金)　ぶらり中山道バスの旅

■11 月 30 日(木)　逸見路を歩く第 1 回

【月例会】
・月例会は毎月一度の話し合いの場です。どなたも歓迎ですのでご参加下さい。

【例会参加者へ】
・特に表記のない例会は、雨天決行です。
・特別の場合を除いて事前申し込み不要です。
・例会は、どなたも参加できます。
・会員は会員証とウォーキング手帳を御持参下さい。(貰っていない方は事務局へ)
・タイトルの前に※印があるのは当会主催ではありません。
他会主催の場合の詳細はそれぞれの主催者にお問合わせ下さい
・例会についての質問は、担当者名が掲載されていればそこへ。それ以外は事務局へ。

八ヶ岳歩こう会事務局 / 多賀純夫 電話 0551-32-5888 FAX 0551-32-6877